

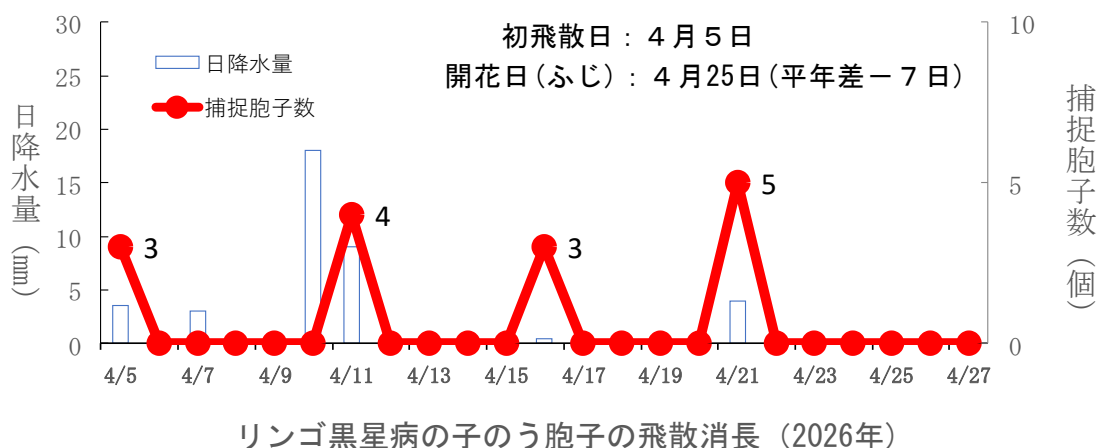
## リンゴ黒星病の子のう胞子の飛散状況

令和8年4月30日  
秋田県果樹試験場

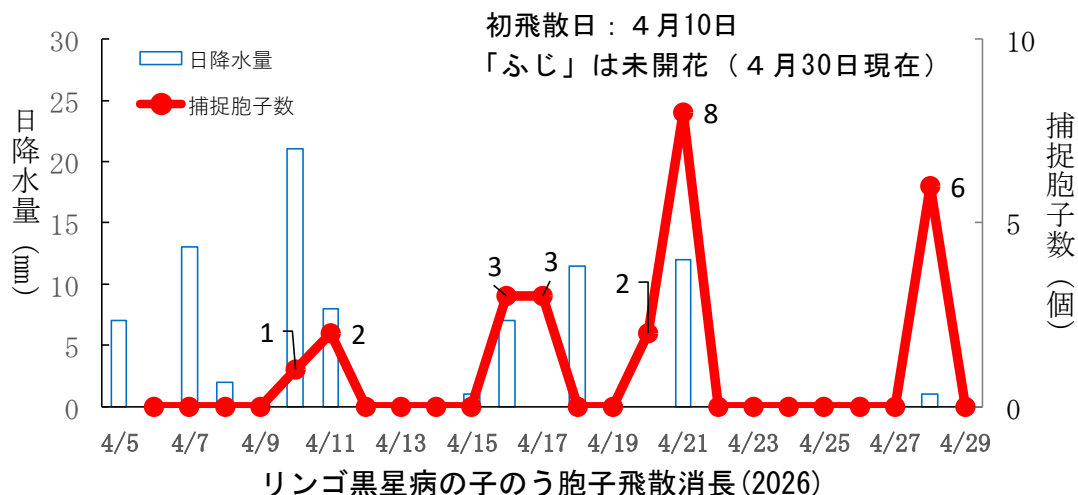
- 県北、県南ともに子のう胞子の飛散が確認されているため、全県的に一次感染期に入っています。薬剤散布は降雨前を心がけて散布間隔が空かないように適期防除を行いましょう。
- また県北、県南ともに4月10日の降雨は、感染好適条件（葉の濡れた状態が10時間以上継続）を満たしていたため、早ければ5月上旬頃に初発生が見られると考えられます。

### ◆調査結果

#### 1) 横手市平鹿町（秋田県果樹試験場）



#### 2) 鹿角市花輪（かづの果樹センター）



◆防除上の留意点

・落花直後の防除は園地の状況に合わせて以下の①、②の通り薬剤を選択します。

①前年に黒星病が発生した園地

保護殺菌剤（チオノックフロアブル、デランフロアブル、ジマンダイセン水和剤など）にユニックス顆粒水和剤47、またはミギワ20フロアブルを加用して散布する。

②前年に黒星病の発生が無かった園地

保護殺菌剤にアンビルフロアブルなどのDMI剤を加用して散布する。